

## 個別対策のコースの考え方（案）

- 「予防」、「応急」、「復旧・復興」の3つの活動フェーズを踏まえて、個別対策のコースを設定する。
- 1コース当たり2日間とし、1単元あたり75分の単元を10単元履修する。
- コース開始時に「施設見学+開校式」を1単元、個別対策コースに関する研修を8単元、コース終了時に「全体討論、修了式」を1単元履修する。

## ○「活動フェーズ」によるコース設定（例）

演習形式

テーマ	予 防		応 急				復旧・復興		
コース	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	減災対策	訓練企画	体 制	情 報	警報・避難	避難収容・被災者支援	物資・広域行政	復興・被災者生活再建	
概要	迅速かつ円滑な災害応急対策や、復旧・復興のための各種予防対策について、知識を中心に身につける	実践的な訓練を行うための企画・運営・評価等の方法について、知識・技能を中心に身につける	迅速かつ円滑な災害対応のための活動体制の確保に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	発災直後から開始される情報収集・伝達に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	災害発生直前・直後の対策として、警報等の伝達、避難、2次災害防止活動等に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	避難者対応、避難所開設運営、応急仮設住宅等の提供、要配慮者対応等に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	緊急輸送のための交通確保・緊急輸送、物資調達・供給活動、災害時の相互応援等に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	迅速な現状復旧、計画的な復興の進め方、被災者等の生活再建等の支援に係る対策について、知識・技能を中心に身につける	
単元例	1	予防・軽減	訓練の種類と内容	本部組織・機能	災害情報	警報の伝達・避難誘導	被災者支援	復旧復興期対応	
	2	地域防災計画	訓練の企画・運営支援	通信手段の確保	リスクコミュニケーション	避難勧告・指示と警戒区域の設定	救援物資調達・供給	被災者生活再建支援	
	3	BCP	訓練と評価・改善手法	関係機関連携	防災情報システム	避難所運営	交通確保	緊急輸送	
	4	自助・共助育成	訓練の企画実習	ボランティア受入	情報共有手法	応急仮設住宅	緊急輸送	広域応援・受援	廃棄物処理
	5	BCP作成演習	訓練運営支援演習	本部運営エス/グラフィ	情報処理演習	2次災害防止対策	災害救助法適用	広域応援・受援	廃棄物処理
	6			本部運営エス/グラフィ	情報処理演習	避難行動演習（地震）	要配慮者対応座学・演習	物資調達・供給エス/グラフィ	防災まちづくり
	7	マニュアル作成演習	評価・改善演習	本部空間配置演習	広報・広聴演習	避難行動演習（風水害）	避難所運営演習	広域応援・受援演習	復興計画の作成演習
	8								

※単元例は、「個別課題の対応」の中から、特に内閣府として能力の向上を図る分野に絞り、設定した。

## ○「対象別」

- 「都道府県」、「市町村」の対象別に、コースを設定する。

## ○「テーマ別」

- 「避難」などテーマごとにコースを設け、コース内でテーマに関係する予防、応急、復旧・復興の各フェーズの活動を学ぶ。